

～ 阿佐谷図書館 実習報告 ～

杉森中学校 2年生のレポートです。

7月13日（水）～7月15日（金）の3日間、図書館の仕事を体験しました。

☆取り組んだ仕事と感想☆

配架

雑誌の装備

本の装備

交換便

リサイクル本準備

書架整理

- ・この図書館で3日間、働いてみてとてもいい発見ができた。楽しかったことも、難しかったこともいろいろあり、またやりたい!!と思いました。
- ・配架は、1日目はあまりできなかつたが日が経つにつれ、作業が速くなった。雑誌や本の装備は、最初はだめだったが、最終日にはうまくできるようになった。交換便やリサイクル本準備は、地味だけどとても大事だと思った。
- ・時間内にやらなくてはならないことを終わらせること、お金を稼ぐことが難しいということを感じました。



☆杉並の図書館について、どう思う？☆

- ・月に何回かイベントがあり、子どもが楽しめるイベントがたくさんあっておもしろそうだと思います。
 - ・とても静かで勉強などに使いたいと思った。
- 図書館には、本しかないと思っていたが新聞や雑誌もあることを知った。
そのため、もっと使いたいと思った。
- ・図書館の数が多く、本の数も多いので、欲しい本が手に入りやすい状態になっていてとてもいいと思いました。



☆ オススメの本を教えてください ☆



『店長がバカすぎて』

早見 和真/著(角川春樹事務所)

6話のシリーズに分かれており、シリーズによって話題が違って、日常で働いているバカの起こすノンフィクションで書かれており、読書が苦手な方でも簡単に楽しんで読めます。



『ぼくらの七日間戦争』(「ぼくら」シリーズ)

宗田 理/著(KADOKAWA)

この本は、主人公菊地英二とその仲間たちが大人に対していたづらをしかける物語です。今回はクラスメイト全員で廃工場に立てこもり、大人たちを困らせます。大人たちを困らせるのがとてもおもしろいです。他にも、「ぼくら」シリーズがあるのでぜひ読んでみてください。

